

## 令和 8 年度 第 1 回水産市場再整備基本構想検討会議 会議録

日 時：令和 8 年（2026 年）7 月 16 日（木）午後 1 時 30 分から午後 3 時 10 分

場 所：小田原市公設水産地方卸売市場 水産海浜課会議室

出席者：別紙名簿のとおり

事務局：山地水産市場再整備担当課長、内田副課長、安東主査

委託業者：林、天野、種市（Web）

事務局である山地水産市場再整備担当課長の進行により、令和 8 年度第 1 回水産市場再整備基本構想検討会議が開会された。

冒頭、山地水産市場再整備担当課長からの挨拶に引き続き、配付資料の確認、出席者の確認が行われた。

以降、中川委員長に進行役をお願いした上で、次第に沿って、次のとおり議論が進められた。

### 【議題】

#### 1 議題（1）水産市場再整備基本構想（素案） 進捗について

山地水産市場再整備担当課長から、過去に開催されたワークショップ等の結果や意見等について概要を説明した。また、配布資料 4 「基本構想素案」について、資料の説明を実施した。

#### 2 議題（2）水産市場再整備基本構想（素案） 内容に関する意見交換

山地水産市場再整備担当課長から資料説明の後、中川委員長主導により、市場関係者からの意見交換を実施し、次のとおり議論があった。

#### （庄司委員）

- ・買受人側の立場として、今後の流れや施設の配置について理解しかねる部分が多い。

#### （中川委員長）

- ・より具体的に検討をしていくうえで、意見の内容を具体にご提示頂きたい。

#### （庄司委員）

- ・市場 1 階の区割りに関して、現状では市場内部で買い付けた水産物を小分けしている業者もあり、こうした細かい作業スペース等は考慮されているのか。また、そうしたスペースは図中緑色の範囲で示されているが、具体、買付側の小売りスペースまたは荷さばきとして利用するスペースなのかがわからず用途が判然としない。

**(中川委員長)**

- ・ 1 階の配置イメージに示す緑色のスペースは、大枠として「売り場」「荷さばき」の両方の運用を考えているが、詳細な区割り等については未決定の段階となっている。今後、市場関係者の意見を踏まえて、詳細をすり合わせしていく。
- ・ スペースを利用する業者の作業特性にもよるため、動線上の配置や区割りのデザインは今後検討すべき課題となるが、面積については早い段階で決定しておいた方がよい。
- ・ 消費地市場としての側面を意識した場合に、外部からの客や利用者を想定した駐車場の検討が必要と考えるが、現在の案はどうか。

**(山地水産市場再整備担当課長)**

- ・ 配置イメージの 1 階に示すとおり、ロータリーの中央に駐車場を設けているが、実際の利用を想定すると規模が足りないため、追加的な駐車スペースとして本港東漁具干場の活用が可能かについて県とも協議しながら計画しているところである。

**(庄司委員)**

- ・ 一般利用者や観光客向けの駐車場開放について、市場関係者が優先されるべきと考えているので、同じスペースを利用することは違和感がある。

**(中川委員長)**

- ・ 「にぎわいのある市場」としての整備を目指す以上、駐車スペースなどを一般向けに使用することは前提となるため、ある程度は受け入れてもらう必要もある。駐車場に関して、午前中は市場関係者、午後は一般利用者の使用をメインに想定しているが、第一には市場関係者を優先と考えている。なお、駐車スペースの配置やボリュームの概数は想定しているが、個別の業者毎の積み下ろし状況（トラックの規模や付け方）については現状対応できていないため、今後詰めていく必要がある。
- ・ バリアフリーの内容について、盛り込んでどうか。
- ・ 現状当市場では、時間帯によって利用されていないスペースがあるため、公施設として収益化等を考えたときに、空いているスペースを有効活用することで、価値のある空間づくりをしていく必要がある。

**(内田副課長)**

- ・ 仲卸の作業場所を明確化するため、及び卸売代行者が販売できる場所を確保するために配置を分けている。買受人が買い付け後に荷物を分けたり、梱包を行う作業スペースを確保しているが、具体の運用方法等については未定であるため、引き続きの意見交換で詳細を検討していく。
- ・ 駐車場については、市場関係者が利用する時間は優先的に利用できるように看板を設置するなど対応を検討していく。

(中川委員長)

- ・HACCPの関係で衛生管理については保健所からも指導が入っているように、今後は絶対厳守になるため、市場関係者におかれては理解に努めて頂く。
- ・閉鎖型の記載がないため、盛り込んだ方がよい。閉鎖型になると、温度を保つために空調設備を導入する必要もある。空調設備のための電気代がかかってくることも理解する必要がある。

(高橋委員)

- ・閉鎖型且つ衛生管理に配慮した施設の利用動線を検討する必要がある点については理解した。その場合、岸壁から直接市場に搬入する漁業者の立場としては、施設内に入るのは手間が多いため、岸壁から市場内に直通のコンベアを要望したい。コンベアの設置が可能であれば、船の付ける位置を固定化してほしい。

(内田副課長)

- ・運用も含めて皆様と考えていきたい。

(市川委員)

- ・詳細を詰めていったところで変更が必要となった場合に戻って変更することはできるのか。

(内田副課長)

- ・基本構想で定めた面積以上は変更できないというわけではない。細かい配置を検討する中で多少の増減は調整できると考えている。

(中川委員長)

- ・市場の現状について、冷凍・塩干加工品の減少が衰退要因になっている点は、関係者全体で共有し、市場全体として「鮮魚」「加工品」など、どの商品を一般に売り出していくか目標設定をはっきりさせなければ、市場の衰退に歯止めがかからない。

(庄司委員)

- ・冷凍・塩干品より、売れている商品（水揚げ品や鮮魚）でカバーしていくことで進めていきたい。

(中川委員長)

- ・個別の事業者としての意見は出し合う必要があるが、市場として販売していく商品については、関係者全体で戦略として同じものを見据えるようにすると良い。今後の基本計画検討においては設備の話に進んでいき、より具体的な目標の提示が必要となる。
- ・意見も出尽くしたところであるが、事務局から補足説明があれば願います。

**(内田副課長)**

- ・今回の意見を踏まえて、詰めなければいけない部分は多々ありますが、本日承認頂いた素案については来週の水産部会で報告させていただきます。
- ・引き続き、ワークショップ等で市場関係者からの意見要望等は募らせて頂き、また、今後素案をベースとした構想（案）を作成しますが、その案についてはより詳細でページ数も膨大となります。
- ・皆様には十分に基本構想（案）の内容を確認いただきたく、冊子となった基本構想（案）を後日各位に配布させていただき、配布資料と合わせて内容に対する意見書を添付させていただきますので、書面会議の形で検討会議を開催させて頂きたいと考えますがいかがでしょうか。

**(中川委員長)**

- ・事務局より会議の開催方法について相談がありましたが、提案のとおり次回基本構想検討会議は書面での開催といたします。

**(山地水産市場再整備担当課長)**

- ・中川委員長をはじめ委員の皆様、ありがとうございました。
  - ・検討会議の書面開催については9月中旬頃を予定しております。これで令和8年度第1回水産市場再整備基本構想検討会議を終了します。
- 本日は、ありがとうございました。

以上